

# 2018年度からの特定健診の見直しポイント

## 基本的な健診項目

メタボリックシンドロームに着目した健診内容

- 質問票 見直し
- 身体計測
- 理学的所見(身体診察)
- 血中脂質検査 見直し
- 肝機能検査
- 血糖検査 見直し
- 血圧測定
- 尿検査

## 詳細な健診項目

医師の判断により実施される

- 心電図検査 見直し
- 眼底検査 見直し
- 貧血検査
- 血清クレアチニン検査 new

## PICK UP

### 血中脂質検査における「non-HDLコレステロール」

脂質に関する検査項目は「中性脂肪」「HDLコレステロール」「LDLコレステロール」の3つだが、中性脂肪が400mg/dl以上、もしくは食後採血の場合は、LDLコレステロールの代わりに「non-HDLコレステロール」でも可。これにより検査の精度が上がるのが期待される。

### 血清クレアチニン検査を追加

腎機能を調べる方法として、尿たんぱく検査が行われているが、糖尿病腎症の重症化予防を推進するため、詳細な健診項目に「血清クレアチニン検査」を追加。日本人は欧米人に比べて腎臓が弱く、腎障害を起こしやすい傾向があるといわれ、これにより糖尿病腎症などの腎障害の早期発見が期待される。

### 質問票に歯や口の健康づくりに関する項目を追加

咀嚼機能が低下したり口の中の健康が損なわれると、生活習慣病のリスクが高まるため、「食事をかんで食べるときの状態」に関する項目が追加。

### 血糖検査における「随時血糖」

やむを得ず空腹時以外に採血を行い、HbA1cを測定しない場合は、食直後(3.5時間未満)を除き随時血糖でも可。

### 心電図検査、眼底検査の要件

血圧や血糖が基準値を超える場合などの要件を整備。

## 特定健診を受けた その後は?

特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクの程度によって3つの段階に分けられます。

- 大 **リスク**
- 積極的支援
- 動機付け支援
- 小 ● 情報提供

積極的支援、動機付け支援の場合は、生活習慣の改善に向けて、専門スタッフがサポートします。

## 受診中なのに 未受診?!

ご存じ  
ですか?

糖尿病と診断され、治療で通院中の患者さんでも、実は合併症予防の検査を受けていない人が多いようです。いずれも、1年に1度は受けておきたい検査です。心あたりのある人は、かかりつけ医に相談しましょう。

